

2025.06.04

京大病院医療安全情報148

【患者誤認】

＜事例＞ A病棟に外線でケアマネージャーから、「京大さんの家族から明日退院と聞いている。看護情報提供書を送ってほしい。」と連絡があった。看護師は術後1日目である京大 進さんの状態から、明日退院のはずはないことを伝えたが、「ソーシャルワーカーからも退院の連絡があった。」と言われた。不審に思った看護師が確認したところ、B病棟に入院している京大 都さんのことであった。ケアマネージャーがA病棟に直接連絡してきたため、A病棟入院中の患者のことだと思い込み、フルネームでの確認をしていなかった。



A病棟入院中
京大 進さん



B病棟入院中
京大 都さん

インシデント報告に基づいた対策です

京大病院医療安全情報148

【2点認証で患者誤認を防止】

患者誤認を防止するための対策

①まずはフルネームで確認



患者さんの名前を
フルネームで
お願いします

Point①



患者誤認のほとんどは、正しいとの思い込みで確認工程を省略したことによるものです。

フルネームの照合だけでも大部分の患者誤認を防止できます。

②生年月日やIDなどを含む2項目以上での確認

※2点認証は国際標準です。

Point②



同姓同名や類似名も誤認につながります。

氏名ともう一つ別の識別子(個人を識別することができる情報)を使いましょう。

氏名、生年月日、診療番号、マイナンバーがこれに当たります。

